

事務連絡
平成18年8月22日

(事務局)

国土交通省 東北地方整備局
道路部 道路計画第二課長

「ゆきみらい研究発表会」の論文募集について（依頼）

来たる平成19年2月8日～10日に「ゆきみらい2007in会津」が会津若松市にて開催されます。この一環として「ゆきみらい研究発表会」が、添付の「開催概要（案）」により開催されることになりました。つきましては、皆様の「本研究発表会」への論文を募集いたしますので、よろしくお願いたします。

なお、下記により資料をとりまとめの上送付願います。

記

- 1 開催概要（案） 添付
- 2 論文募集について

ゆきみらい研究発表会の発表は、以下のテーマを基本とした3セッションで行います。

- セッションA：観光・景観・風土からみた雪国の再評価と発見
(キーワード) 親雪、雪と街づくり、冬の景観、冬の観光(雪国文化)、
利雪(観光活用)、学雪等
- セッションB：平成18年豪雪から学ぶもの
(キーワード) 雪国の防災、豪雪対応、情報提供、官民協働、住民参加、
複合災害、雪崩等
- セッションC：冬期の道路管理を考える
(キーワード) 路面管理、雪氷対策、利雪(エネルギー)、環境、新技術、
除雪機械、除雪手法等

発表論文は各セッション15題程度を予定していますが多数の応募をおまちしております。セッションテーマ以外の論文や活動紹介についても広く募集しております。

発表論文の決定等手順は次により行われます。

- ① 論文募集要領により、各機関より論文申込書及び概要論文・本論文を応募
- ② 応募された論文を事務局にて整理
- ③ 発表論文を決定(11月予定)
- ④ 論文発表資料の作成を依頼(12月初旬予定)

3 提出資料

添付「論文作成要領」による論文申込書
概要論文、本論文

4 送付期限

- ・ 論文申込書 … 平成18年 9月29日 (金)
- ・ 概要論文 … 平成18年10月13日 (金)
- ・ 本論文 … 平成18年10月13日 (金)

5 提出・問い合わせ先

「ゆきみらい研究発表会事務局」 (2006年9月4日以降)

電話 03-6740-2941 FAX 03-6740-2942

E-mail okita@yukicenter.or.jp

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3番17号日本橋三洋ビル7階
(社) 雪センター 内 担当：中川、沖田

「ゆきみらい研究発表会事務局」 (2006年9月1日迄)

電話 03-3261-2941 FAX 03-3261-2764

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1

※事務所移転後旧住所へ送付された場合、郵便は新住所に転送されますが、受け取りまで多少時間がかかることが予想されます。宅急便等は転送されず届かない可能性もありますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

6 その他

- ① 雪に関する活動を行っている団体等御存知でしたら、論文・活動報告の募集についてご紹介頂きますようお願い致します。
- ② 論文募集要領は、ゆきみらいホームページに掲載し、広く論文を募集します。
- ③ 論文の口頭発表時間は一人15分(発表12分、質問3分)を予定しておりますが、詳細については論文発表資料の作成依頼時に再度連絡させていただきます。

ゆきみらい研究発表会 開催概要（案）

会場：御宿 東鳳（コンベンションホール鳳翔 1F）
〒965-8588 福島県会津若松市東山町大字石山字院内 706
TEL(0242)-26-4141

日時：平成 19 年 2 月 9 日（金）9:00～17:00

入場料：無料

主旨：雪国では、古くから様々な雪氷技術の開発や雪氷対策が行われている、また雪国には独自の文化・風土が根付いていると共に、雪国ならではの景観が有り、雪国における豊かな生活や経済発展に貢献してきた。しかし、社会状況の変化に伴い、冬期間の移動障害や住民による雪処理能力の低下など、新たな課題も生じてきている。

このような状況の中で平成 17 年豪雪に続き起こった平成 18 年豪雪は、59 豪雪以来約 20 年ぶりの豪雪となった。この 20 年の間に少雪に慣れてしまっていた我々に、改めて豪雪の恐ろしさや影響について考えるきっかけになったと思われる。

雪国における全ての人達が安全で快適な生活を実現するためにも、平成 18 年豪雪を見つめ直し、更なる雪氷技術の開発・普及が重要となっているとともに、雪国の文化や冬期観光、雪国活性化事例等を紹介・発信して頂くことが、今後雪を有効活用していく上で必要だと考えられる。本研究発表会は、調査研究を行う技術者・道路管理者と地域の人々を結びつける場として、以下の 3 つを柱に開催するものである。

- ①観光・景観・風土から見た雪国の再評価と発見
- ②平成 18 年豪雪から学ぶもの
- ③冬期の道路管理を考える

プログラム：

9:00～9:10 開会挨拶（10 分）

国土交通省 総合政策局 建設施工企画課長
道路局 国道・防災課 道路防災対策室長
福島県 土木部長

9:10～11:10 パネルディスカッション

「平成 18 年豪雪から何を学び、どう活かすか」（120 分）

11:10～11:30 休憩・移動（20 分）

11:30～12:15 研究発表（45 分）

- セッション A：観光・景観・風土から見た雪国の再評価と発見
（キーワード）親雪、雪と街づくり、冬の景観、冬の観光（雪国文化）、利雪（観光活用）、学雪等
- セッション B：平成 18 年豪雪から学ぶもの
（キーワード）雪国の防災、豪雪対応、情報提供、官民協働、住民参加、複合災害、雪崩等
- セッション C：冬期の道路管理を考える
（キーワード）路面管理、雪氷対策、利雪（エネルギー）、環境、新技術、除雪機械、除雪手法等

12:15～13:15 昼食休憩（60 分）

13:15～14:45 研究発表（90 分）

14:45～15:00 休憩（15 分）

15:00～16:30 研究発表（90 分）

16:30～16:50 休憩（20 分）

16:50～17:00 講評（10 分）

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

「ゆきみらい研究発表会」

論文募集要領（論文執筆要領）

ゆきみらい研究発表会事務局

ゆきみらい研究発表会
論文募集要領（論文執筆要領）

雪国では、古くから様々な雪氷技術の開発や雪氷対策が行われている、また雪国には独自の文化・風土が根付いていると共に、雪国ならではの景観が有り、雪国における豊かな生活や経済発展に貢献してきた。しかし、社会状況の変化に伴い、冬期間の移動障害や住民による雪処理能力の低下など、新たな課題も生じてきている。

このような状況の中で平成17年豪雪に続き起こった平成18年豪雪は、59豪雪以来約20年ぶりの豪雪となった。この20年の間に少雪に慣れてしまっていた我々に、改めて豪雪の恐ろしさや影響について考えるきっかけになったと思われる。

雪国における全ての人達が安全で快適な生活を実現するためにも、平成18年豪雪を見つめ直し、更なる雪氷技術の開発・普及が重要となっているとともに、雪国の文化や冬期観光、雪国活性化事例等を紹介・発信して頂くことが、今後雪を有効活用していく上で必要だと考えられる。本研究発表会は、調査研究を行う技術者・道路管理者と地域の人々を結びつける場として、以下の3つを柱に開催するものである。

- ①観光・景観・風土から見た雪国の再評価と発見
- ②平成18年豪雪から学ぶもの
- ③冬期の道路管理を考える

1. ゆきみらい研究発表会の概要

ゆきみらい研究発表会は、平成19年2月8日～10日に開催される「ゆきみらい2007in会津」の一環として開催されます。ゆきみらいの開催概要は以下のとおりです。

◆ゆきみらい研究発表会	平成19年2月9日（金） 9:00～17:00 於：御宿 東鳳
◇克雪・利雪シンポジウム	平成19年2月8日（木）13:00～17:00 於：風雅堂
◇克雪・利雪見本市	平成19年2月8日（木）～2月10日（土） 於：あいづ総合体育館
◇除雪機械展示実演会	平成19年2月8日（木）～9日（金） 於：あいづ総合運動公園駐車場

2. 研究発表会発表分野

募集する調査研究分野及び事例報告は以下に示すA～Cのテーマで、調査研究や活動実績報告（住民団体、市民行政との協働実績等）といったものを募集いたします。

- セッションA：観光・景観・風土から見た雪国の再評価と発見
（キーワード）親雪、雪と街づくり、冬の景観、冬の観光（雪国文化）、利雪（観光活用）、学雪等
- セッションB：平成18年豪雪から学ぶもの
（キーワード）雪国の防災、豪雪対応、情報提供、官民協働、住民参加、複合災害、雪崩等
- セッションC：冬期の道路管理を考える
（キーワード）路面管理、雪氷対策、利雪（エネルギー）、環境、新技術、除雪機械、除雪手法等

※セッションテーマ以外のものでも構いませんので御応募下さい。

3. 提出書類の種類と締切

- ・ 論文申込書 … 平成18年 9月29日(金)
- ・ 概要論文 … 平成18年10月13日(金)
- ・ 本論文 … 平成18年10月13日(金)

4. 論文等書類の提出方法

(1) 論文申込書

論文申込書(別紙-1)に必要事項をご記入のうえ、電子メール(PDFファイル形式)またはFAXで、9月29日(金)までに「ゆきみらい研究発表会事務局」へ、お申し込み下さい(連絡先は下記参照)。

(2) 概要論文・本論文

概要論文及び本論文は、電子ファイル(PDF形式)で、概要と本論文を別ファイルとして作成してください。電子ファイルのデータ容量は4Mbyte程度を上限としてください。概要論文・本論文の提出は、それぞれ提出期限までに「ゆきみらい研究発表会事務局」へ、電子メールまたは、郵送にてお申し込み下さい(連絡先は下記参照)。

(2006年9月4日以降)「ゆきみらい研究発表会事務局」

電話 03-6740-2941 FAX 03-6740-2942

E-mail okita@yukicenter.or.jp

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3番17号日本橋三洋ビル7階

(社)雪センター 内 担当:中川、沖田

(2006年9月1日迄)「ゆきみらい研究発表会事務局」

電話 03-3261-2941 FAX 03-3261-2764

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1

※事務所移転後旧住所へ送付された場合、郵便は新住所に転送されますが、受け取りまで多少時間がかかることが予想されます。宅急便等は転送されず届かない可能性もありますので、ご注意下さいますように宜しくお願い致します。

5. 論文の執筆要領

(1) 概要論文

概要論文はA4版、1ページで作成してください。概要論文には、調査研究目的、手法、結果を明確に記述してください。また、本文(表題、図表、写真を含め)などにおいて特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。なお、NPOやボランティア団体等の活動報告についても同様な様式で提出してください。事務局内の査読班の判断により論文発表をお断りする場合がありますのでご了承ください。(論文執筆要領参照、参考例を掲載しておりますので参照ください。)

(2) 本論文

本論文はA4版、6ページ以内、偶数ページ数で作成してください。本論文の執筆要領に関しては、1ページ目は論文概要と同様とします。2ページ以降に関しては、1段25文字×46行で2段組で作成してください。(参考例を掲載しておりますので参照ください。)

～論文執筆要領～

◇容量

概要論文：A4版1ページ

本論文：A4版6ページ以内（偶数ページ数）

◇形式

上下のマージン18mm、左右のマージン12mm、2段組

◇フォント及びポイント

タイトル（副題含む）－12ポイント、フォントはゴシック、中央寄せ

著者名－12ポイント、フォントは明朝、中央寄せ

著者所属名－10ポイント、フォントは明朝、中央寄せ

本文－10ポイント、フォントは明朝

行間－16ポイント

大見出し－10ポイント、ゴシック

小見出し－10ポイント、明朝

◇文字数等

1行文字数 25文字

1段の行数は 46行

◇見出し

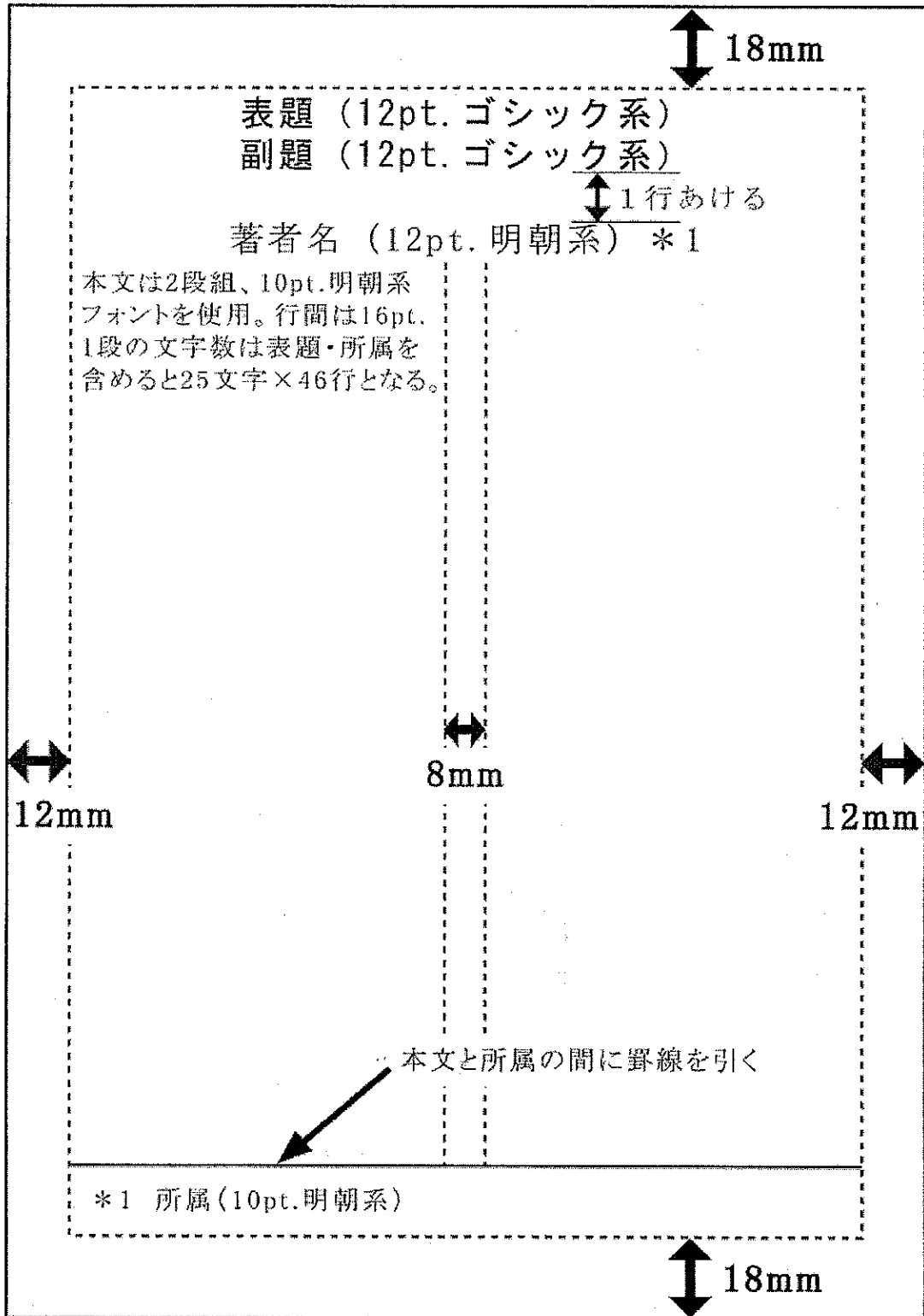
大見出しは行頭から「1. はじめに」のように書き、小見出しは「1.1 小見出し」としててください。

◇図表

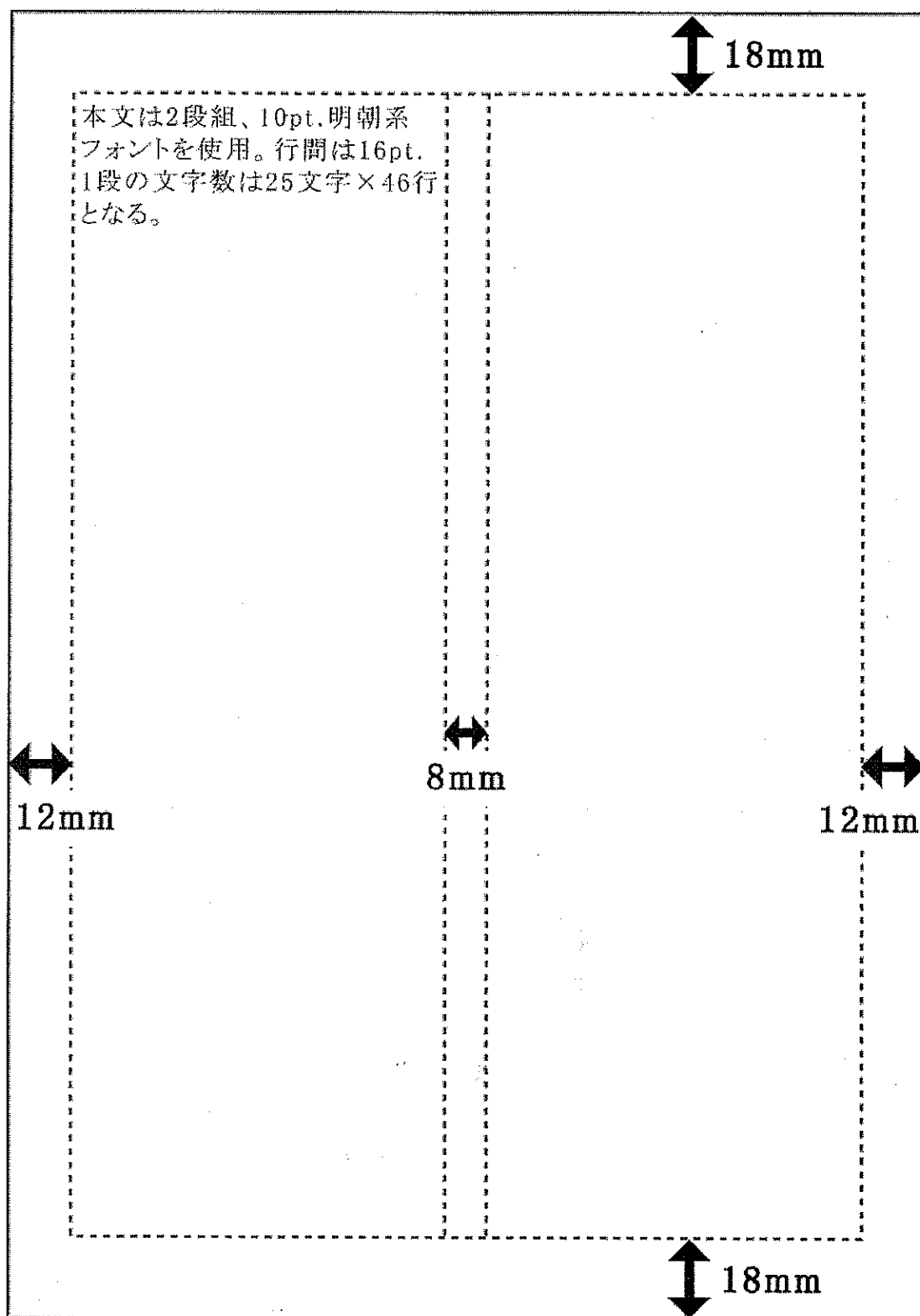
図表・写真は順番に「図1」「写真1」と番号をつけてください。図表番号及び写真番号とタイトルは、図・写真の下。表は表の上につけてください。

■参考（論文概要書及び本論文の執筆形式、レイアウト）

(1) 概要論文、本論文1頁目



(2) 本論文(2ページ目以降)



6. 論文発表

論文発表は、口頭発表及び論文集掲載といたします。各論文投稿者の発表方式は、論文を受け付け後、事務局にて選別し、論文投稿者へご連絡いたします。

論文の口頭発表時間は一人 15 分（発表 12 分、質問 3 分）を予定しておりますが、詳細については論文発表資料の作成依頼時に再度連絡させていただきます。時間内に発表が終わりますようにご協力下さい。

7. 概略スケジュール

平成 18 年 9 月 29 日（金）論文申込書の締切

平成 18 年 10 月 13 日（金）概要論文、本論文の締切

平成 18 年 12 月上旬 発表者通知、発表要領を発表者へ送付

平成 19 年 2 月 9 日（金）研究発表会の開催

8. 論文提出及び問い合わせ先

（2006 年 9 月 4 日以降）「ゆきみらい研究発表会事務局」

電話 03-6740-2941 FAX 03-6740-2942

E-mail okita@yukicenter.or.jp

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1 丁目 3 番 17 号日本橋三洋ビル 7 階

（社）雪センター 内 担当：中川、沖田

（2006 年 9 月 1 日迄）「ゆきみらい研究発表会事務局」

電話 03-3261-2941 FAX 03-3261-2764

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-1

※事務所移転後旧住所へ送付された場合、郵便は新住所に転送されますが、受け取りまで多少時間がかかることが予想されます。宅急便等は転送されず届かない可能性もありますので、ご注意下さいますように宜しくお願い致します。

ゆきみらい研究発表会
論文申込書

(別紙1)

トピック (○を付けてください)	A ・ B ・ C ・ その他
論文キーワード (複数記入して下さい)	※各セッションキーワードに記載されていないものでも可です。
発表形式の希望 (○を付けてください)	口頭発表 ・ 論文集掲載
論文名	
著者名 (氏名及び所属をご記入ください)	
担当者 (氏名及び所属をご記入ください)	※上記著者と同一であれば記入の必要はありません。 ※連名執筆の場合は、連名者のうち一人を連絡担当者としてください ※地方整備局等で取りまとめた場合は、その担当者名をご記入ください。
担当者連絡先	住所 電話 FAX E-mail アドレス

■ 申込先
社団法人雪センター内 「ゆきみらい研究発表会事務局」